

CONTENTS

| | |
|----------------------|-----|
| 地域発NEWS | 1~4 |
| 国有林野所在市町村の魅力紹介 | 5~6 |
| 特集コーナー | 7 |
| 使える！ 行政情報& | 8 |
| 研究・技術の参考情報 | |
| 地域のこの人 | 9 |
| 東北森林管理局の管内で | 10 |
| 予定されているイベント情報 | |



八幡平を代表する景勝地です。沼を周回する約1.2kmの散策路を歩くと、ブナ林に囲まれた中で、春の新緑、初夏の花々、秋の紅葉など年間を通して楽しめます。

八幡平大沼（秋田県鹿角市）[提供：米代東部森林管理署]

中里中学校の生徒が下刈などを体験

津軽森林管理署金木支署

当支署と中泊町立中里中学校は、遊々の森協定を締結し、森林・林業に関する体験活動を行っています。今年度の2回目となる活動として、7月4日、中里中学校2学年39名が袴腰山国有林207と2林小班内において、下刈・補植・測樹体験作業を行いました。下刈作業は、生徒達が昨年10月に植栽した箇所を、職員の指導を受けながら下刈鎌を使用し、下草を刈り払いました。

また、枯れた苗木を新しい苗木に交換する補植作業では、山に生えていたヒバの山取苗を、唐鋏を使用し各班2本ずつ植栽しました。去年の作業方法を忘れ戸惑う生徒もいましたが、職員が説明すると作業方法を思い出し丁寧に作業をしていました。

樹の高さや太さを測る測樹作業では、胸高直径を測るための輪尺と樹高を図るための測竿及び測高器（ブルーメライス）を使用しました。生徒達は、職員から使用方法の説明を受け、対象木5本（スギ3本、アカマツ1本、コナラ1本）をそれぞれ測樹し、計測値を野帳に記入しました。



輪尺を使い測樹作業をしている様子

今後も森林環境教育を通じて、地域の森林や林業に関心を持ち、次世代を担う人材となってもらうように継続して取り組んでいきます。

高山植物盗採防止合同一斉パトロール

岩手南部森林管理署

岩手県南西部の奥州市と西和賀町の境に位置する焼石岳は、標高が1547.3m、なだらかな丘陵状の山容で残雪が多く、豊富な雪解け水により多くの湿地帯とお花畑が広がることから花の名峰と呼ばれており、初夏の季節には花を目当てに多くの登山者が訪れます。

山頂までの登山ルートは岩手県側と秋田県側の両県にあることから、昭和58年から岩手・秋田両県の関係機関により、高山植物の生育状況及び盗採等の現状確認と両県の情報交換や盗採防止策の検討を行うため、毎年、合同の一斉パトロールが行われています。



パトロールの様子（左）

ショウキラン（右上）
ヒオウギアヤメ（右下）

今年は、新型コロナウイルスの影響等により3年ぶりの開催となりましたが、当日は天候に恵まれ、登山者に対して高山植物保護の啓発を行いながらパトロールを実施しました。

花の見頃は6月下旬頃だと聞いていましたが、パトロールを実施した7月下旬でも十分に花を楽しむことができます。

昭和の時代から続く「高山植物盗採防止合同一斉パトロール」ですが、今後とも関係する機関等と連携し、貴重な自然を後世に残せるよう取り組んでいきます。

来年の花の見頃には、東北最大級と言われているお花畑で皆さんをお待ちしております。

治山事業を熱烈PR

三陸北部森林管理署

当署では、防災・減災意識の向上や治山事業のPRに向けた取組を行っており、治山事業の目的や効果を分かりやすく解説した“手作りチラシ”を治山施設を設置予定箇所の下流域にお住まいの方々に試行的に配布しました。

チラシ効果を検証するために実施したアンケートでは、『治山ダムを知らなかった』という方が全体の約7割と非常に多く、治山事業はあまり認知されていないという結果になりましたが、全体の9割以上の方が『治山ダムの機能をチラシにより理解し、施工を歓迎する』と回答しました。今後もチラシの配布を行い、施工に対する理解を深めることができると考えています。

また、より幅広い年齢層にわかりやすく治山事業を伝えたいという思いから、実際に施工したダムの設計図を基にペーパークラフト



施工したダム

を製作しました。中学生を対象とした森林教室で治山ダムの説明に使用したところ、後日送られてきた感想では全体のほとんどが治山事業に対する感想となり、インパクトに残るツールとなったと感じています。自分で組み立ててみたいという声もあったことから生徒全員に後日送付しました。



ペーパークラフト

てみたいと思った方は当署治山グループまでお気軽にご連絡ください。

このような取組により、治山事業や防災・減災に興味をもつきっかけとなることを期待しています。

治山ダムのペーパークラフトを作

クマ剥ぎから造林木を守る

下北森林管理署

クマ剥ぎとは、スギやヒバ等樹木の樹皮が根元から1~2メートル程度、クマにより剥がされる被害のことを言います。この習性は、親から子に受け継がれると言われているため、一度クマ剥ぎを覚えると徐々にその地域での被害が拡大していくと考えられています。また、クマ剥ぎ被害により、木の幹の半周以上の樹皮が剥がされてしまうと、樹木が枯死することもあるため、剥がされる前の対策が必要となります。

当署管内では、被害防止対策として「リンロンテープ」というトウモロコシを原料とした生分解性（機能を果たした後、徐々に土へかえる性質）のテープを樹木へ巻き付け、クマ剥ぎの未然防止に努めています。巻き方の特徴としては、樹木へらせん状に巻きつけることで物理的にクマが樹皮を剥げないようにしています。また、テープの上端部を50cmほど垂らすことで、テープが風でたなびいた時に発生する若干の摩擦音により、聴覚的に警戒心を与え、一時的な防獣効果向上を図っています。



リンロンテープを巻き付けている様子

今後もクマの生態や生息域を知ることにより、より効果的な獣害対策を模索し、農林業被害の未然防止に努めていきたいと考えています。

樹木採取権制度ってなに？

秋田森林管理署

樹木採取権制度とは、国有林野の管理経営に関する法律（昭和26年法律第246号）に基づき、一定の区域（樹木採取区）において、一定期間（約10年を基本）、安定的に樹木を採取（伐採）できる権利を民間の事業体に設定するものです。この制度により、長く安定した仕事を確保できることで、森林経営管理制度※の中心となる林業経営者が、計画的な機械の導入や人員の確保等、経営基盤の強化を進めることが期待されています。

東北森林管理局では令和3年9月に全国で初めて樹木採取区（東北1大曲・船岡樹木採取区）を秋田森林管理署管内に設定し、事業者の公募・審査を経て、令和4年3月に秋田県素材生産流通協同組合と樹木採取権契約を結びました。今後、この採取区から生産された丸太が秋田市周辺の大型木材工場に安定的に供給される予定です。



出材を予定する樹木採取区

なお、今回の契約締結で8年間の樹木採取権の契約が交わされ、樹木の採取（伐採）が可能となりましたが、採取（伐採）終了後は確実に再造林（苗木を植える）を進めていくこととしており、林業経営者の育成を推進することとしています。

※経営管理が適切に行われていない森林について、その経営管理を林業経営者や市町村に委ねる制度。

森林保護員が今年度も巡視活動を実施

米代西部森林管理署

当署では、白神山地世界遺産地域及びその周辺地域の貴重な森林生態系の保全管理を目的に、森林保護員（グリーン・サポート・スタッフ）による巡視活動を行っております。今年度は林道工事のためアクセスできない小岳（世界遺産地域・緩衝地域）を除き、6月下旬から10月中旬まで二ツ森、岳岱、田苗代湿原、藤里駒ヶ岳をメインに実施しました。

昨年までコロナ禍で減っていた入山者も移動制限の緩和で回復しつつある中、入山ルール・マナーの普及啓発、登山道の草刈り、遊歩道の簡易な補修、清掃等を行いました。さらに、白神山地に関係する機関等との年2回の合同パトロールを実施し、登山道の巡視や通行の妨げとなる草の刈払い、高山植物や湿性植物等の在来種の生息環境を脅かすオオハンゴンソウの駆除を実施しました。このパトロールでマナー違反は無かったものの、オオハンゴンソウの多さと拡大の早さに驚かされ、改めて生態系維持のための在来種保護の必要性を感じたところです。

8月上旬の大雨では林道が通行不能となり、森林保護員の巡視活動にも影響がでましたが、来年度以降もこの地域の大切な生態系を維持していくため巡視活動等に取り組むことにしています。



登山道の危険箇所を表示する森林保護員

下刈作業における筋刈の導入について

宮城北部森林管理署

東北森林管理局管内では、造林コストの削減として今年度より下刈作業において筋刈の実施を本格的に開始しました。下刈は、保育作業の中でもコストや労力を必要とし、省力化において最優先とされています。当署では、下刈面積195haに対して筋刈は87.03ha、全体の約45%実施しています。筋刈は、植栽木と植栽木の間を刈払う方法です。通常の下刈との違いは全面積を刈らないため、植栽木の周りに下草は残ってしましますが、作業面積を約30%省力化することができます。



下刈作業の筋刈状況(登米市内鮎川山国有林)

作業者からは、「筋刈により、刈る面積が減ったため作業が楽になり、植栽木の折損・誤伐も減った。」とコメントをいただきました。しかし、残った下草の被圧により、成長への影響が考えられることから、筋刈箇所については、現地の繁茂状況や植栽木の成長に合わせて実施しています。

当署では、筋刈による植栽木の成長への影響を調査するため、令和3年度に植栽したカラマツ造林地において生育調査を実施しています。吉田地区(奥羽山脈側)と気仙沼地区(太平洋側)の気候の異なる2地区に試験地を設け、地域性の違いも考慮しながら取り組み、低コスト化を実現していきます。

生産性向上を目指した『サルカ付き材』の生産

庄内森林管理署

現在、脱炭素社会の実現に向けた木材利用の推進と林業における生産性の向上が課題となっています。当署では対応策のひとつとして『サルカ付き材』の生産に取り組んでいます。

サルカとは立木を伐採するとき切断面に生じる不整形な部分で、断面のきれいな丸太を生産する際に端材として切り捨てられます。林地にちらばる不揃いな寸法の端材は集めるのに大きなコストがかかるため、有効活用は難しいのが現状です。

そこで、当署では、林業事業体を招いて伐採木からどのような規格の丸太を生産すべきか検討する採材検討会を実施し、事業者の方々にサルカ付き材(サルカを含めた2m程度の丸太)のメリットをお知らせするとともに、サルカ付き材を含んだ木取りを実践してもらいました。材の形状を見ながら計画的にサルカ付き材を生産することで、従来切り捨てられていた部位を利用し、伐採木の歩留まり^{ふど}が向上し、未利用材の利用・生産性向上の両面において大きなメリットがあります。



サルカ付きの材

生産されたサルカ付き材はバイオマス発電用の燃料材として利用されています。このように、サルカ付き材を普及することで生産性の向上に貢献するとともに、さらなる木材利用の推進を目指しています。

※立木の幹材積に対する、実際に伐り出され丸太として出材される材積の割合のこと。

国有林野所在市町村の魅力紹介

岩手県気仙郡住田町

三陸中部森林管理署

住田町は、岩手県の東南部にあり沿岸南部に該当しているものの、太平洋に面していない唯一の町です。他方、森林資源が豊富で「森林・林業日本一の町」を目指しています。

◎五葉山ごようざんは、北上山地南部に位置し住田町、大船渡市、釜石市にまたがる標高1,351mの山です。藩政時代は伊達藩の保護を受け「御用山」と呼ばれていました。それが後に、この山で多く見られるゴヨウマツ（五葉松）に因んで「五葉山」と呼ばれるようになったといわれています。初夏のツツジ、シャクナゲやガンコウランなどの植物を見ることが出来ます。住田町からは、桧山（黒岩及びあすなろ山荘）コースが最寄りの登山道です。



五葉山

◎滝観洞たうかんどうの、洞窟入り口から880mの場所にある「天の岩戸の滝」は落差29mの滝が流れ落ち、



滝観洞

ドーム状になっている場所から見学できます。長い竹筒から蕎麦が流れ落ちる「滝流しそば」も有名です（現在は改修のため休止）。

◎鏡岩かがみいわは、上有住地区にあり気仙川上流部に垂直に切り立つ巨大な岩で、月夜に岩へ映る木の影が鏡に映っているように見えるため名付けられた景勝地です。隣接地に「せせらぎ公園」があり緑地で木漏れ日が差す心地よい場所です。



鏡岩

◎種山ヶ原たねやまがはらは、奥州市、住田町、遠野市にまたがる物見山（種山）を頂点とした標高600～870mに位置した高原地帯です。北上高地の南西部の東西11km、南北20kmに及ぶ平原状の山で、物見山・大森山・立石などを総称して別名「種山高原」とも呼ばれています。宮沢賢治がこよなく愛した高原として知られ、宮沢賢治の作品の源泉になった岩手の自然風景地「イーハトーブの風景地」のひとつとして「物見山」も国の史跡名勝天然記念物に指定されています。



種山ヶ原

お問合せ先：住田町観光協会 Tel：0192-46-2111

国有林野所在市町村の魅力紹介

山形県西村山郡西川町

山形森林管理署

西川町は山形県のほぼ中央、県都山形市の西方32kmに位置し、磐梯朝日国立公園の月山^{がっさん}や朝日連峰とその支脈に囲まれ、町の中央には平成7年に清流日本一に選ばれた「寒河江川」^{さかえがわ}が流れています。

総面積の約90%が森林であり豊富な森林資源に恵まれ、「西山杉」の主要な産地となっています。西山杉は品質の良さから市場で高い評価を得ており、町では西山杉を活用し様々な木工製品の

開発を行うほか、町内の中学校で西山杉製の天板を取り付けた学習機^{がくしゅうき}を利用するなどして地元産材の普及に



西山杉を活用した学習機

取り組んでいます。

『雪と緑と太陽と 月山のある町』として、四季折々の観光資源が非常に豊富です。町のシンボルでもある月山では、4月上旬に月山夏スキー場がオープンし、7月まで全国でも珍しい夏スキーを楽しむことができます。7月1日に夏山開きを迎えると様々な高山植物と出会うことができるフラ



月山夏スキー

ワートレッキング、秋には紅葉トレッキングを楽しむことができます。

また、本町は全国有数の豪雪地帯であり、冬にはこの雪を活用して、江戸時代の旅籠を雪で再現するイベント「月山志津温泉雪旅籠の灯り」や様々なスノーアクティビティを体験できる「月山スノーランド」などを楽しむことができます。



月山志津温泉雪旅籠の灯り

豊かな自然に囲まれた西川町は月山筍やキノコ、山菜などの食材に恵まれ、これらの食材をふんだんに使った「月山山菜そば」が名物です。その他、地ビールの酵母かすを飼料としたブランド豚「月山モルトポーク」や名水百選に選ばれた「月山自然水」、地域の風土を活かした「地酒・地ワイン・地ビール」も堪能できます。また、令和4年10月より自然豊かな西川町の空気と水で育つ牛を「月山和牛」として新たにブランド化し、提供を開始しました。



月山和牛

お問合せ先：西川町商工観光課 Tel 0237-84-0566 西川町産業振興課 Tel 0237-84-0027

令和3年10月、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されました。

この法律の施行に伴い、農林水産省の特別機関である木材利用促進本部において、建築物における木材の利用の促進に関する基本方針を策定しました。基本方針として、国は、公共建築物以外の建築物における木材利用に向けた取組をけん引し、木材利用の促進に主導的な役割を果たすため、自ら整備する公共建築物においては率先して木材の利用に努めることとされました。



木造の森林技術・支援センター 外観
(青森県北津軽郡中泊町)

樹木は成長するときに大気中の二酸化炭素を吸収し幹や枝に炭素として蓄えます。木材として利用した場合は長期にわたって炭素を貯蔵できること、木材製造時にエネルギー消費が比較的小さいことに加え、再生産可能な資源であり、エネルギー源として燃やしても大気中の二酸化炭素濃度に影響を与えないなど、「カーボンニュートラル」の特性を有しています。

また、木材は調湿性に優れる、断熱性が高い、リラックス効果があるなど、人にやさしい、心安まる素材でもあります。

東北森林管理局では木材の利用促進を図るため、庁舎等施設（車庫や倉庫を含みます。）の整備に当たっては、原則、木造化とする考え方も

と、新築、増築又は改築は木造による整備を行っています。



木のぬくもりが優しい2階ホール

庁舎施設の整備には、地域の林業、木材産業に貢献できるよう、地場産木材の利用に努めているほか、気候・風土を踏まえた工法の採用、CLT材※など、新たな技術を活用した木造建築としています。令和3年の森林技術・支援センターの建替には、地場産のヒバを通し柱とし、壁にはスギのCLT材など木材を使用しています。



化粧壁：スギCLT

通し柱：ヒバ

1階ホール（スギCLT材・地場産ヒバの丸太柱）

今後も庁舎等施設の木造化を通じて木材の利用促進に努めていきます。

※直交集成板。Cross Laminated Timberの略。

縦横方向が直交するように積層接着した木質系材料。断熱性や遮炎性、遮熱性、遮音性などの複合的な効果がある。大型施設や中層ビルなど新たな用途での木材需要拡大が期待されている。



CLT材の断面

使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

ナラ枯れ対策 おとり丸太法

東北森林管理局ではナラ枯れ被害対策として、被害を受けたナラ等の立木を伐採して薬剤でくん蒸処理する事業を中心に実施していますが、それに加えて今年度は「おとり丸太法」による防除も実施しています。

今回ご紹介する「おとり丸太法」とは、ナラ枯れの原因となるカシノナガキクイムシ（以下、カシナガ。）の生息密度が高い地域に、健全なナラ等の丸太を集積して合成フェロモン剤を設置し、カシナガを丸太に誘引した後、丸太ごと破碎・焼却等することにより殺虫する防除手法です。丸太に空いた穿入孔の数から誘引個体数を推計し、周囲の被害レベルに応じた誘引効果となっているかを確認することができます。



青森県深浦町に設置したおとり丸太

今年度は青森県深浦町12箇所、岩手県岩泉町2箇所、秋田県大仙市及び湯沢市にそれぞれ1箇所の計16箇所におとり丸太を設置しており、岩手県岩泉町及び秋田県大仙市の設置箇所で管轄森林管理署主催の現地検討会を実施し、県・市町村の関係者におとり丸太の設置方法等について情報を共有しました。

現地検討会で出された意見や誘引個体数調査結果、周辺の被害状況等を基に、より効果的な事業となるよう設置場所等の検討を重ねてまいります。

管内国有林のナラ枯れ被害状況については、東北森林管理局のHPをご覧ください。



ご関心のある方は、東北森林管理局保全課
(018-836-2417)までお問合せ下さい。

森林3次元計測システム OWL(アウル)

人工林が本格的な利用期を迎える中、現場におけるICT等先端技術を活用した効率的な作業が求められています。

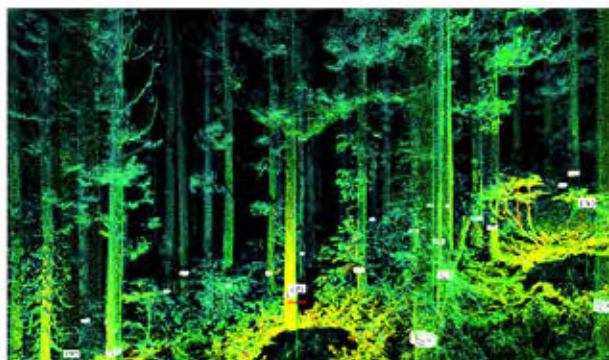
東北森林管理局では、森林3次元計測システムOWL（以下「アウル」という。）を導入し、森林資源調査の可能性について検証を行っています。

このアウルは、地面に垂直に機器を設置し、360度レーザによりスキャンすることで、森林等の空間情報を取得することができます。また、その情報は専用解析ソフトにより、立木の位置、直径、樹高、面積等を把握することができ、3次元点群データとして可視化することが可能です。



計測の様子

複雑な操作は不要で、欲しい情報の地点に10m間隔で設置して計測（スキャン時間45秒/回）するため、標準地（20m×20m）の調査・解析は30～40分程度でできます。また、枝や葉でレーザが遮られるという特徴を持つため、下層植生の少ない場所や下層植生が少ない時期に調査を行うことが望まれます。



3次元点群データ(立木の位置、直径、樹高、面積等を把握)

アウルの導入により、収穫調査における作業効率の向上が見込まれるほか、地表の測定による縦断・横断面図の作成など、治山事業等への応用も期待されています。

ご関心のある方は、東北森林管理局技術普及課
(018-836-2023)までお問合せ下さい。

地域のこの人

海を育む森林に携わって

宮城県森林組合連合会
栗駒高原森林組合 小岩明日香さん

当森林組合は岩手県、秋田県と境界を接する宮城県の北部、栗駒山（標高1,626m）の麓に位置しています。栗駒山を含む栗駒山地は栗駒国立公園に指定され、伊豆沼と内沼はラムサール条約の登録湿地で自然豊かなとても魅力的な場所です。

私は気仙沼市大島の出身で、幼いころから海に囲まれて育ったので、山や森林は身近なものではないと思っていました。しかし、慣れ親しんだ海の豊かさは、海に流れ込む栄養豊富な川の水、さらにその上流の森林土壤に支えられていると知り、山や森林に興味を持つようになったのです。

そして栗原市に転居したことを機に令和3年1月に入組しました。森林が生物の多様性を育み、自然災害の緩和や木材資源の生産の場になるなど多くの恩恵を与えてくれている事を感じながら現場を歩いています。

現在は、植付け後20年から30年位までの植栽木を保育管理する業務に携わっております。植付け時は膝丈だった苗木が、わずか数年で私の背丈を超えると知り、木の生長の早さと生命力に驚きました。そんな木々の手入れをしながら、木材として伐り出せる林齢まで成長を見届けられる雄大な仕事がとても楽しく、林業に携わる仲間が増えてくれたらうれしいです。



木材として伐り出すまで植栽木を保育管理

ドローンを活用した業務の効率化

三陸北部森林管理署久慈支署 山形森林事務所
地域技術官 金田 直幸さん

当事務所は、岩手県久慈市山形町の国有林約6,500haを管轄し、管内には「日本一の白樺美林」として有名な平庭高原があります。

森林事務所の業務は、林野の巡視、各種調査、造林事業や生産事業の監督業務など多岐に渡ります。幅広い対応や時には難しい判断が求められるため、適切かつ効率的な業務の遂行が重要となります。また林業においても業務の効率化は大きな課題です。

効率化の一環として、ドローンを使用した例を挙げますと、今年度の下刈箇所において、筋刈（筋状に刈払）での低コストを進めており、ドローンで作業区域全体を把握することで、安全で作業しやすい筋の向きを決めました。その後の作業の進捗状況の管理や検査業務にもドローンを活用しています。私自身の事例を林業者へ普及し、効率化に繋がったときは仕事のやりがいを感じます。



豊かな自然の中での仕事

私が就職先としてこの職場を選んだのは、インターンシップで収穫調査を体験した際、職員の方が自然の中ではつらつと仕事をしていたのが印象的で、他にどんな仕事をするのか興味を持ったのがきっかけでした。最新の技術を取り入れ、民有林へ技術普及をさせていくことも公務の大切な役割です。新たな機器や技術を活用しながら、自然を相手に楽しく仕事をしております。

私が就職先としてこの職場を選んだのは、インターンシップで収穫調査を体験した際、職員の方が自然の中ではつらつと仕事をしていたのが印象的で、他にどんな仕事をするのか興味を持ったのがきっかけでした。最新の技術を取り入れ、民有林へ技術普及をさせていくことも公務の大切な役割です。新たな機器や技術を活用しながら、自然を相手に楽しく仕事をしております。

11月中旬

道の駅にしめギャラリー展11月企画展

11月1日(火)～11月30日(水)
写友ハマナス写真展が無料でご覧
になれます
(秋田県・道の駅にしめ)

まめぶ展・郷土食フェスタ

11月13日(日)
郷土料理「まめぶ」の文献資料等を
展示、フェスタでは食べ比べも
(岩手県・久慈市山形総合支所)

よみがえる漆文化シンポジウム

11月13日(日)
安比川流域の漆文化や伝統技術等
の未来について語るシンポジウム
(岩手県・奥南部漆物語推進協議会)

丸森ウォークラリー大会

11月13日(日)
台風災害からの復興に向かう姿や
町内の景色を見ながら歩く
(宮城県・丸森町教育委員会生涯学習課)

ビッグイエロー2022

11月16日(水)～11月30日(水)
日本一の大イチョウ(北金ヶ沢)の
ライトアップが行われます
(青森県・深浦町)

黒石りんごまつり

11月19日(土)～11月20日(日)
りんごや地場産品などの展示販売
及び各種団体のステージ開催
(青森県・青森県黒石りんごまつり実行委員会)

まるごと大鰐秋の感謝祭

11月19日(土)～11月20日(日)
「大鰐ならでは」のものを鰐come
で販売します
(青森県・まるごと大鰐実行委)

浄法寺のうるし～つなぐつながる

11月19日(土)～11月20日(日)
漆の塗り・掻きの実演やワーク
ショップ等が開催されます
(岩手県・二戸市漆産業課)

11月下旬

ひらかわイルミネーション

11月22日(火)～2月14日(火)
約10万球のLEDライトと台湾提
灯が平賀駅前広場等を彩ります
(青森県・平川市)

ころ柿作り体験会in丸森

11月23日(水)・11月27日(日)
農家の指導を受け、自分で干柿を
作りましょう
(宮城県・丸森町観光案内所)

小岩井ウィンターライツ銀河農場の夜2022

11月23日(水)～1月9日(月)
巨大クリスマスツリー、全長20m
のウェルカムトンネルなど
(岩手県・小岩井農場まきば園)

おもちゃ美術館クリスマスイルミネーション

11月26日(土)～1月15日(日)
美術館(旧鮎川小学校)の銀杏をイ
ルミネーションの光で幻想的に
(秋田県・木のおもちゃ美術館)

八戸いちごマルシェ

11月26日(土)
八戸いちごのクイズに挑戦しての
プレゼントや菓子の販売など
(青森県・八戸市)

日本一おいしい米コンテスト

11月26日(土)
日本一おいしいお米を食味計を使
わずに食べ比べ形式で決定
(山形県・庄内町)

第22回どべっこ祭り

11月26日(土)～11月27日(日)
「遠野産どぶろく」と郷土料理を場
能しながら、神楽や昔話を楽しむ
(岩手県・遠野市)

康楽館演劇祭

11月27日(日)
ステージ部門としてコンクール表
彰式やお話会スペシャルを開催
(秋田県・小坂町)

12月上旬

石ノ森章太郎ふるさと記念館光のページェント

12月1日(木)～12月25日(日)
約1500平方メートルの庭園に約
3万個の電球が飾られます
(宮城県・登米市 石ノ森章太郎ふるさと記念館)

冬に咲くさくらライトアップ

12月1日(木)～2月28日(火)
弘前公園でたくさんの雪が積もっ
たさくらの枝をライトアップ
(青森県・冬に咲くさくら実行委員会)

七ヶ宿ダム冬のイルミネーション

12月1日(木)～3月31日(金)
ダムの点検用の通路を利用した
「冬のイルミネーション」(要予約)
(宮城県・七ヶ宿ダム管理所)

森はもうすぐホワイトクリスマス

12月4日(日)
クリスマスリース、モミの葉エ
アフレッシュナー作り
(山形県・眺海の森森林学習展示館)

阿武隈ライン舟下り「ナイトクルーズ」

12月3日、17日、24日(土)
丸森町の阿武隈ライン舟下りが
「夜の舟下り」として開催
(宮城県・丸森町観光物産振興公社)

ひがしねウィンターフェスティバル

12月3日(土)～1月9日(月)
イルミネーションやクリスマス
マーケット、ミニコンサートなど
(山形県・東根市公益文化施設まなびあテラス)

くりでん乗車会

12月10日(土)
旧くりはら田園鉄道くりでん
KD95(ディーゼル気動車)の乗車会
(宮城県・栗原市くりはら田園鉄道公園)

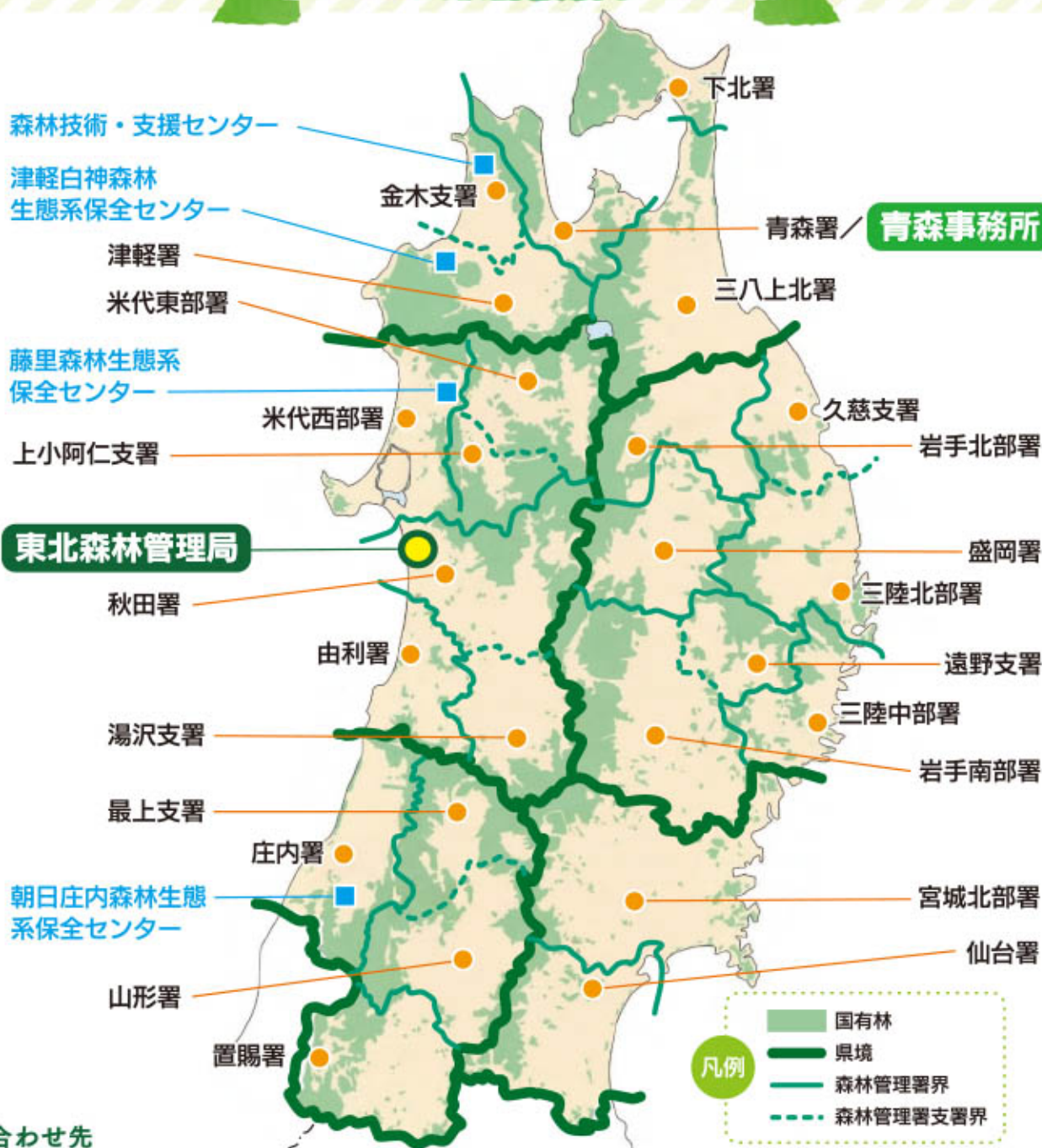
クリスマスマーケットin小坂

12月10日(土)・12月17日(土)
イルミネーションで飾られるほ
か、マーケットやイベント開催
(秋田県・小坂町)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



問い合わせ先

| | | | | | | | |
|-----|-------------|-----------------------|---------------|----------|------------------------|-----------------------|---------------|
| 青森県 | 青森事務所 | 青森市篠田三丁目22-16 | ☎017-781-2117 | 宮城県 | 宮城北部署 | 大崎市古川東町5-32 | ☎0229-22-2074 |
| | 津軽署 | 弘前市大字豊田二丁目2-4 | ☎0172-27-2800 | | 仙台署 | 仙台市青葉区東照宮一丁目15-1 | ☎022-273-1111 |
| | 金木支署 | 五所川原市金木町芦野200-498 | ☎0173-53-3115 | | 米代東部署 | 大館市上代野字中岱3-23 | ☎0186-50-6130 |
| | 青森署 | 青森市篠田三丁目22-16 | ☎017-781-0131 | | 上小阿仁支署 | 北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13 | ☎0186-77-2422 |
| | 下北署 | むつ市金曲一丁目4-6 | ☎0175-22-1131 | | 米代西部署 | 能代市御指南町3-45 | ☎0185-54-5511 |
| | 三八上北署 | 十和田市西二番町1-27 | ☎0176-23-3551 | | 秋田署 | 秋田市河辺和田字和田156-3 | ☎018-882-2311 |
| 岩手県 | 津軽白神センター | 西津軽郡大畑町大字兼戸町字東月野70-82 | ☎0173-72-2931 | 湯沢支署 | 湯沢市田町二丁目6-38 | ☎0183-73-2164 | |
| | 森林技術・支援センター | 北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8 | ☎0173-57-9022 | 由利署 | 由利本荘市水林439 | ☎0184-22-1076 | |
| | 岩手北部署 | 八幡平市荒屋新町41-8 | ☎0195-72-2221 | 藤里センター | 山本郡藤里町藤里字大関添24-3 | ☎0185-79-1003 | |
| | 三陸北部署 | 宮古市磯鶏石崎4-6 | ☎0193-62-6448 | 庄内署 | 鶴岡市末広町23-37 | ☎0235-22-3331 | |
| | 久慈支署 | 久慈市夏井町大崎14-12 | ☎0194-53-3391 | 山形署 | 寒河江市元町一丁目17-2 | ☎0237-86-3161 | |
| | 三陸中部署 | 大船渡市盛町字津野沢7-5 | ☎0192-26-2161 | 最上支署 | 最上郡真室川町大字新町字下荒川1200-11 | ☎0233-62-2122 | |
| | 盛岡署 | 盛岡市北山二丁目2-40 | ☎019-663-8001 | 置賜署 | 西置賜郡小国町大字岩井沢581-45 | ☎0238-62-2246 | |
| | 岩手南部署 | 奥州市水沢東上野町12-17 | ☎0197-24-2131 | 朝日庄内センター | 鶴岡市下名川字落合3 | ☎0235-58-1730 | |
| | 遠野支署 | 遠野市東館町7-39 | ☎0198-62-2670 | | | | |

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.224 ●発行日/令和4年11月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために製材材を積極的に使用しています。